



## 「大学入試センター試験」を終えて ～ 3年生から後輩へのメッセージ

今月14日・15日の両日センター試験が実施され、全国でおよそ54万6千人が受験しました。本校の3年生67名は鹿児島国際大学で受験しました。16日月曜日に自己採点し、その結果については各人いろいろと感じるところがあったことと思います。自己採点の後、3年生にはこれまでを振り返っての感想、間近に迫った大学ごとの試験へ向けての決意、そして、後輩へのアドバイスを綴ってもらいました。その一部を紹介します。じっくりと読んで欲しいと思います。ここにすべてを載せることは出来ないで、全員分のコピー（名前は消しています）を進路資料室に掲示しておきます。是非、そちらも読んで先輩の想いを継いでください。

【Aさん】 受験勉強を始めて約1年、最初の頃は「まだあと1年もあるからな～」と悠長に構えていました。でも、センター試験まで残り100日をきった頃から「やばい。このままではダメだ！」と思って気持ちを切り替えました。月日が経つのがとても早く感じ、焦りと不安で泣きながら勉強することもありました。そんなことを思い出しながらむかえたセンター試験本番は、今までで1番頑張れた2日間でした。そして、自分の目標得点よりも高い得点を取ることができました。でも、緩まらずに20日後の推薦入試、40日後の2次試験まで頑張ります。

【Bさん】 センター試験まであと100日から気がつけばあと14日だった。それぐらい時間がたつのがはやく感じられた。センター試験直前の模試では良い結果で自信がついたが、本番では思うように得点が伸びなかった。私が後輩に伝えたいことは、二年生はあと365日「しか」ないこと。一年生はすぐに「受験生」と呼ばれる日がやってくることを考えて欲しいということだ。まだ一年、二年あるから大丈夫と油断していると確実に痛い目を見る。模試の結果がよいから大丈夫と考えるのも危険だ。そして、一日一日の授業を大切にすることが最も重要だ。今までの生活を振り返って、今から悪いところを直していこう。

【Cさん】 私はセンター直前の1ヶ月間、本気で頑張っていたなと思います。センターが迫ってくる事実とプレッシャーに追い込まれていました。しかし、私は高校入学時から積み重ねてきた基礎に救われたように思います。センターでは、第一志望校を十分狙えるだけの点数がとれました。あとは、二次試験に向けて対策をしっかりしていこうと思います。今、将来の夢が決まっている人、決まっていない人、志望校を決めた人、決めてない人、いると思います。今、じっくり自分の将来のことを考えてみてください。自分は何のために生きているのか考えてみてください。素敵な自分になったら素敵か考えてみてください。素敵になるためにはどうすればいいか考えて、行動に移してください。そして、今という時間を大切にしてください。きっと変わります。皆さんの健闘を祈ります。



【Dさん】 センター試験が終わって、自己採点も終わった今、私が一番に感じたのは、2年生の3学期から勉強を始めていたらということでした。センター試験まで残り1ヶ月となってから、やらなければならないことで頭の中がいっぱいになりました。国語・英語・地理に関しては毎日それぞれ10分でもいいから単語を覚えとけばよかったと思いました。今後は、二次試験までわずかしき時間がありますが、すき間時間を大切にしながら悔いの残らない日々をしたいと思います。これからセンター試験に向けて頑張る後輩には、とにかく無駄な時間を無くして欲しいと伝えたいです。そして、後悔だけはしてほしくないです。がんばってください。

【Eさん】 受験生として長い間センター試験を見据えた勉強をしてきて、本番が近づいてくると緊張や焦りを感じてくることもありましたが、でも実際に試験が始まると2日間が思っていたよりあっという間でした。難しく思ったように解けず、試験終了のチャイムが鳴ったとき落ち込んでしまった教科もありましたが、休み時間に友達や先生とコミュニケーションをとることで、リラックスして次！次！と次の教科に気持ちを切り替えられたことは良かったと思いました。センター試験が無事終了し、まずは一安心ですが、一般入試と二次試験では筆記も必要となるので、気を抜かず、その対策をまた毎日頑張ろうと思います。センター試験までの期間は、いろいろな苦難があり大変でしたが、みんなと一緒に受けられ良かったです。残りのあと少しの時間も合格のために精一杯努力します。

【Fさん】 センター試験を終えて「一年生の時からしっかりと『基本』という土台づくりをしていればよかった…」と思った。だから、2年から勉強し始めても、基本ができていないせいで思うように成績は伸びず、自信がないままセンター試験を受けることになってしまった。センター試験ではいくら焦りもはいい、点を稼ぎたい教科で点を落とすという失態をした。センター試験で焦るとほかの問題にも影響がでてしまうので、焦らないための『基本』をつくり、そこから発展的に進んでいくことが大事だと思った。ただセンター試験で失態をしたとしても、目標に届かなかったとしても僕の目標は変わらないので、その目標を叶えることができるまで、日々自分を磨き上げていきたい。

【Gさん】 センター試験自己採点の際、ケアレスミスの多さに落胆した。数学では、1問マークをしなかったが故、9点分失った。センター試験では、いかに通常通りでいられるかが大切だと感じた。今後は、自分の第一志望の大学に必要な科目を目一杯勉強してセンターで後れをとった分を挽回していけるようにしたい。後輩に伝えたいことは、「その日に学んだことは無理してでもその日の内に復習し、自分のものにする」である。後輩たちは「毎日宿題・部活で忙しい」と思っているだろう。それは本当にそうなのかよく考えてほしい。1日の時間の使い方をよく考えて、余った時間を作り出して日々の復習をするようにしてほしいと思う。2年生はあと1年、1年生は2年頑張り抜いて欲しい。

以下は、多くあった感想・メッセージと特徴的なものを抜粋したものです。

- ・センター試験100日前からがとてはやく感じた。
- ・1、2年生からの積み重ねが大切だと感じた。基礎を固めておくべきだった。
- ・英単語や古文単語、公式や文法などを1、2年生のうちにとしっかりとっておくべきだった。
- ・受験を通して貴重な経験ができた。成長できた。
- ・最後2択までできていても間違えてしまった問題が多かった。
- ・他校生の態度が非常に悪いと感じ、それで心を乱してしまった。
- ・試験会場に暖房がついていないので、とても寒かった。防寒対策をするべき。
- ・宿題以外の勉強をする習慣をつけておいたほうがよい。
- ・試験中に平常心でいることができなかった。
- ・受験を意識して授業や課題に取り組んでいればよかった。
- ・はやめに志望校を決めることができればよかった。
- ・苦手な教科をもっと勉強しておくべきだった。
- ・センターまでの生活を振り返ると周りの人たちに支えられていたんだなと実感した。休みの日も毎日お弁当を作ってくれる母や、応援してくれる家族や友だち、先生方の教えがあるからこそだと思った。感謝の気持ちを忘れずに二次まで後悔しないように頑張る。
- ・緊張しすぎもダメですが、緊張感がないのもダメだと改めて感じました。後輩の皆さんには緊張感をもって勉強してほしいです。
- ・後輩の皆さんには後になって「もう少しやっておけば良かった」と思うことがないように、早いうちから勉強を始めることをおすすめします。まだまだ先のことだからまだ始めなくていいやと思わずに空いた時間があれば少しでも見直しをしたり、分からないところは聞いておいたりしておくといいんじゃないかと思います。
- ・僕は高校受験のときに辛い思いをしたことがありませんでした。だからこの大学受験で体験した受験の大変さやそれを乗り越えることができた達成感は、これから困難なことがあっても「頑張ってみよう」と思えるような勇気につながると思います。